

目標達成計画

作成日: 平成25年 4月22日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人の理念・心得はあるが、グループホームの簡潔な経営理念がない。	グループホームの簡潔な経営理念を作成し、経営理念に沿ってケアを実践する。	管理者を中心にグループホームの簡潔な経営理念を職員全員で検討していく。	6ヶ月
2	4	議事録の中で、グループホームや小規模多機能施設が入り混じり、判断に困る部分もある。	グループホームと小規模多機能施設の項目を別々にする。	議事録記録時、グループホームと小規模多機能施設の項目を別々にする。	1ヶ月
3	11	最低年に1回は管理者によるスタッフの個別面談を実施されたらどうか。	管理者によるスタッフの個別面談を実施する。	個人面談にて、日ごろなかなか意見や要望を言えないスタッフに対し、意見を言ってもらうように促す。	6ヶ月
4	33	「重度化や終末期のあり方についての対応指針」を作成し、早期(契約時)から本人・家族等と話し合いを行い、同意書等で方針を共有したらどうか。	重度化や終末期のあり方についての対応指針を作成する。	重度化や終末期のあり方についての対応指針を作成し、施設内研修等を通じて職員全員で周知できるようにする。	6ヶ月
5	35	緊急災害時の地域住民の方々との協力体制を構築するために、地域自治会への協力要請が望まれる。又、非常用食料、備品等の準備も望まれる。	地域住民の方々との協力体制を構築する事と、非常用食料、備品等の準備をする。	運営推進委員会を通じて、民生委員や自治会へ協力を要請し、災害時マニュアルを見直していく。又、非常用食料、備品等の準備をする。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。